

平成 29 年 1 月 23 日

事故情報の分析の試行について

(氏名) 相澤 彰子

1. 目的

事故情報データベースに登録されている事故情報に関して、言語解析技術を活用した分析を行うことにより、分類項目や事故情報関連辞書・オントロジー（今後構築するものを含む）の網羅性や整合性を調べ、効率的なデータ収集・管理・分析に向けた課題の整理を行う。

2. 分析する事故情報の分野

まずは分野を限定せず、登録情報全般について調査を実施する。次に、他の調査の進捗状況などを踏まえて事故情報の分野や期間を限定して、詳細な分析を行う。他に利用が想定される知識源やデータがあれば、あわせて分析する。

3. 分析において活用する技術

分析においては、言語解析の技術を活用する。言語解析技術は、標準化された語彙と自由入力分による詳細記述を対応付けたり、商品と事故内容の間の関係を抽出したりするための手段で、テキストマイニングや知識獲得の適用に必要な処理技術である。

4. 期待される成果

言語解析技術を適用することで、大量の情報を分析する際の解析者の見落としを防いだり、データ登録時の入力作業を支援したりすることが可能になる。また、事故情報データベースの有効活用において、報道や SNS などリアルタイム性の高いメディアの活用についても、技術的な観点から有効性を議論できるようになる。